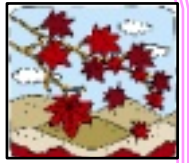


リハビリテーション科ニュース

発行所・発行人
小諸厚生総合病院
リハビリテーション科
E-mail
K-reha@ma.ctk23.ne.jp
2011.11.1発行



呼吸器のリハビリテーションについて

呼吸器のリハビリテーションとは

「呼吸器の病気によって生じた障害を持つ患者に対して、可能な限り機能を回復、あるいは維持させ、これにより、患者自身が自立できるように継続的に支援していくための医療である」と定義されています。
その中の呼吸理学療法は、呼吸障害の予防と治療のために適応される理学療法の一手段です。



今回はその呼吸理学療法について紹介いたします。

当院の呼吸理学療法は、胸部・腹部の手術の前後、脳卒中中で入院された方、急性期・慢性期の呼吸器の病気がある方など様々な状況の患者さんに対して施行しています。



理学療法士による呼吸介助訓練場面

実際にどのように行っているのでしょうか

手術前後の患者さんに対しては、手術前から呼吸状態の評価を行い、腹式呼吸等の呼吸練習や指導を行います。また手術後、呼吸状態に問題が生じた場合に痰を出す練習や呼吸練習などを行います。

脳卒中などの原因により麻痺から呼吸する力が低下してしまう患者さんには、呼吸介助等の手技を用いて、呼吸機能の改善や痰を排出する治療を行っています。これらを行うことで肺炎などの合併症を予防し早期回復の手助けをします。

呼吸リハビリテーションは、患者さんの状態の把握やリスク面の問題など情報を必要とするため、医師や看護師など各職種がチームで携わることが大切で互いに協力して行っています。

スタッフ一同、今後も呼吸リハの知識と技術を研磨し、質の良いサービス提供を努力していきます。(PT 土屋)

ワンポイント学習

最新のコミュニケーション機器

お話をすることが難しい人たちの気持ちや、考えていること、行動、必要とするものを的確に表現します。

ダイスキデス



Voice4u (ボイスフォーユー)

絵をタッチすると、その絵が表す言葉をしゃべってくれます。最近の携帯電話などで使えます。

タッチ!



編集後記

十一月は立冬の季節。二十四節気の一つで、初めて冬の気配が現われてくる頃です。

今夏は暑く、残暑も厳しかったのですが、最近では日中と朝夕の温度差が大きくなってきました。綺麗な紅葉を見る事が出来る時期でもあり、紅葉狩りにでも出かけてみてはいかがでしょうか。(広報担当)

